

令和 6 年度日本道路協会会長奨励賞

自らの創意工夫を加え、その後の業務遂行に多大な成果をあげた若い技術者を表彰し、道路技術の進展に寄与することを目的として、平成 26 年度より「日本道路協会会長奨励賞」を開設いたしました。

各関係機関を通じて候補者の募集をしたところ、20 件の応募があり、令和 6 年度の受賞者は以下の方々に決定致しました。

受賞者 大竹 智貴 氏、三村 正史 氏、有賀 和貴 氏、巳上 諒太 氏、小森 喬平 氏

勤務先 中日本高速道路株式会社

功 績 「高速道路リニューアルプロジェクト」の床版取替工事において、通行止めによる影響を最小限に抑えるための工夫として、「仮設鋼床版」の使用、有識者や関係機関との合意形成、利用者に対する SNS による広報活動やリアルタイム所要時間の情報提供を行い、東名高速道路では初となる夜間通行止めの遂行に貢献されました。

受賞者 池末 和隆 氏

勤務先 株式会社横河ブリッジ

功 績 首都高速 1 号線高速大師橋だいしばしの更新工事において、隣接橋に挟まれた限られたスペースでの架設にあたり、事前に橋梁を綿密に実測し、新設橋の長さ補正や架設誤差を考慮した構造立案、現地での適切な指示により、mm 単位での高精度な架設を遂行しました。また、将来の点検・補修作業の効率化と作業員の安全性を考慮した維持管理性に優れた橋梁の建設に貢献されました。

受賞者 井上 大地 氏

勤務先 三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社

功 績 九州自動車道矢部川橋床版取替工事において、河川協議に留意した設計変更を検討し、発注者との綿密な協議を繰り返し実施しました。築 50 年を超える既設橋の現地損傷調査、FEM 解析、実挙動を考慮した検討を行い、既設橋補強の最小化を図ることに加えて、拡幅に伴う施工数量や工数削減による大幅な建設コストの削減に貢献されました。
